

「リマインドコールを早めたことによる初診受診率、キャンセル率の変化に関する実態調査  
ーリマインドコールとキャンセル枠の有効利用の一考察ー」へのご協力をお願い

神奈川県立精神医療センター依存症外来では、初診予約をされた方を対象に、予約の際に取得した情報をもとに、予約日から受診日までの待機日数や受診数、受診率、キャンセル率についての研究を実施しています。この研究は、当センターの依存症外来の初診を希望される患者さまを少しでも多く受け入れられるよう、今後の予約体制を検討していくための一助になると考えております。

研究課題名	リマインドコールを早めたことによる初診受診率、キャンセル率の変化に関する実態調査ーリマインドコールとキャンセル枠の有効利用の一考察ー
研究の対象	2019年4月1日～2022年3月31日の間に神奈川県立精神医療センター依存症専門外来に初診予約をされた方を対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	当センターの依存症専門外来に初診予約をされた方へのリマインドコール3日前と7日前の比較から、受診率の変化を明らかにし初診予約枠の有効活用について検討しより多くの初診希望者の回復の支援につなげたいと考えています。ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報外部に漏れることはありません。プライバシーには十分に配慮します。
研究期間	承認日～2023年10月31日まで
研究に使用する試料・情報の種類	電子カルテPC内にある依存症外来データベースと診療録から抽出した調査項目。予約日からの待機日、来院有無及びキャンセルの種別(連絡なし/事前連絡あり/予約日変更)相談者(本人/家族/その他)、キャンセル枠の有無及び活用状況等の情報。
研究実施期間(研究組織)	主研究機関:神奈川県立精神医療センター 研究責任者:看護局 外来看護科 小島亮子
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	神奈川県立精神医療センター看護局 外来看護科 看護科長 白石 美由紀

本研究はヘルシンキ宣言(2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版)及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(2022年4月1日施行)に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定することはできません。

本研究は神奈川県立精神医療センター依存症診療科内で実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんでご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先： 研究責任者 看護局 外来看護科 小島亮子  
地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
神奈川県立精神医療センター  
総務課 倫理委員会事務局  
Tel:045-822-0241